



03

奉仕

BASE Is Biblical And Solid Essentials
MINISTRY

Introduction

序論

“
神の子は、
神の使命を
成就するためには
神のしもべと
なられた。

-John Oswald Sanders

**神のご目的を
成し遂げる
奉仕者とされたい**

AGENDA

01
02
03
04

- 奉仕の意義**
- 奉仕者の資質**
- 奉仕の秩序**
- 奉仕の報い**

Chapter 1

奉仕の意義

Section 1-1

神のご計画の中の 奉仕

私は
神のご計画の
すべてを、
余すところなく
あなたがたに
知らせたからです。

使徒 20:27

御国を宣べ伝えて
あなたがたの間を
巡回した私

使徒 20:25

また私は、
新しい天と
新しい地を見た。
以前の天と
以前の地は過ぎ去り、
もはや海もない。

私はまた、
聖なる都、
新しいエルサレムが、
夫のために
飾られた花嫁のように

整えられて、
神のみもとから、
天から降って
来るのを見た。

黙示録 21:1-3

私はまた、
大きな声が
御座から出て、
こう言うのを聞いた。

黙示録 21:1-3

「見よ、
神の幕屋が
人々とともににある。
神は人々とともに
住み、人々は
神の民となる。」

神ご自身が
彼らの神として、
ともにおられる。」

神のご計画

God's Plan

御国の実現

Realization Of The Kingdom

ソロモン三部作

箴言
Proverbs

伝道者の書
Ecclesiastes

雅歌
Song of Solomon

**神の知恵に
信頼する**

Trust in the wisdom of God

**神の知恵に
信頼する**

Trust in the wisdom of God



**自分の知恵で
判断する**

Judge with your own wisdom

今、
知恵と知識を
私に
授けてください。

II歴代誌 1:10

箴言

Proverbs

神の知恵によって
どのように生きるか

How to live by God's wisdom

伝道者の書

Ecclesiastes

神の知恵によって
生きるしかない

We can only live by the wisdom of God

雅歌

Song of Solomon

神の知恵と
一つになる望み

Hope to be united with the wisdom of God

**神の知恵に
信頼する**

Trust in the wisdom of God

神のご計画

God's Plan

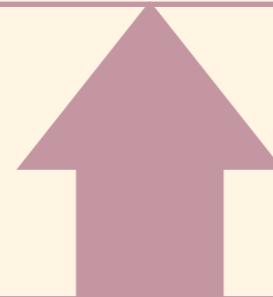
御国の実現

Realization Of The Kingdom

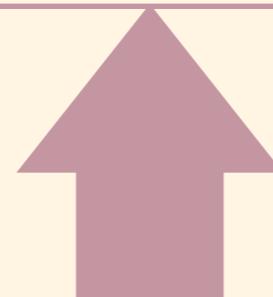
timeline

歴史のゴール

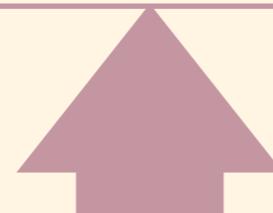
御国の実現



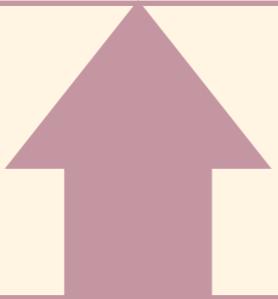
新天新地



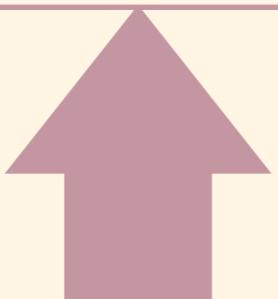
大いなる白い御座のさばき



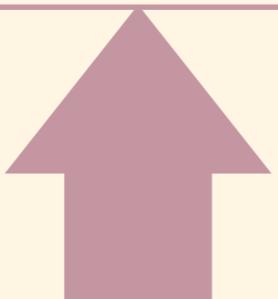
千年王国



患難時代



携手



兄弟姉妹の成長

教会の完成



Section 1-2

第1章のまとめ

あらゆる奉仕は
世界の完成に
つながっている

Chapter 2

奉仕者の資質

Section 2-1

民数記に見る 奉仕者の資質

創世記

Genesis

失敗した人

Person Who Failed

出エジプト記

Exodus

回復された人

Recovered Person

レビ記

Leviticus

礼拝する人

Worshiper

民数記

Numbers

奉仕する人

Person To Serve

Section 2-2

奉仕の本質

人口調査

1

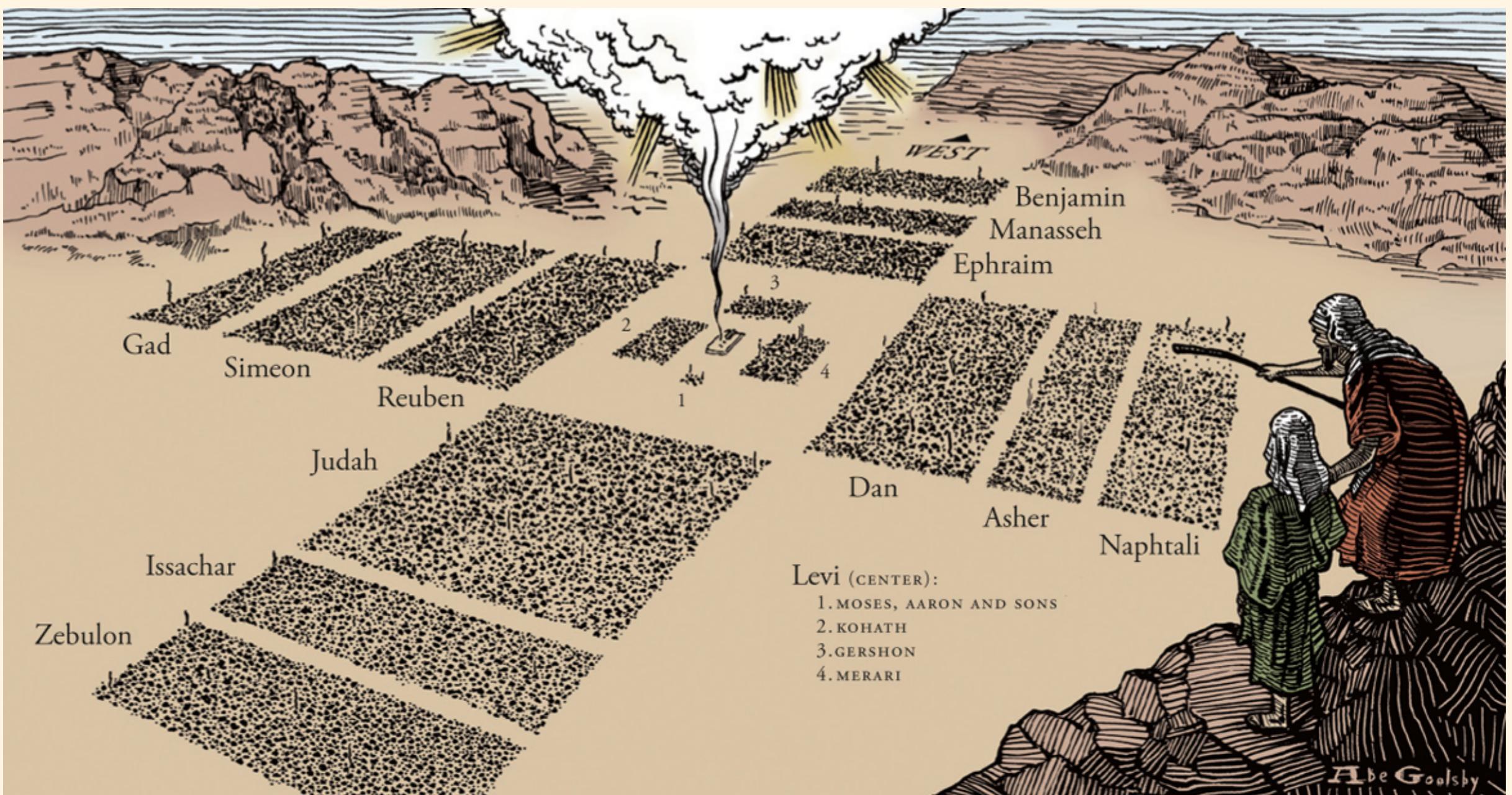
兵士の人数調査

Soldier Number Survey

2

レビ人の人数調査

Survey Of Levite Population



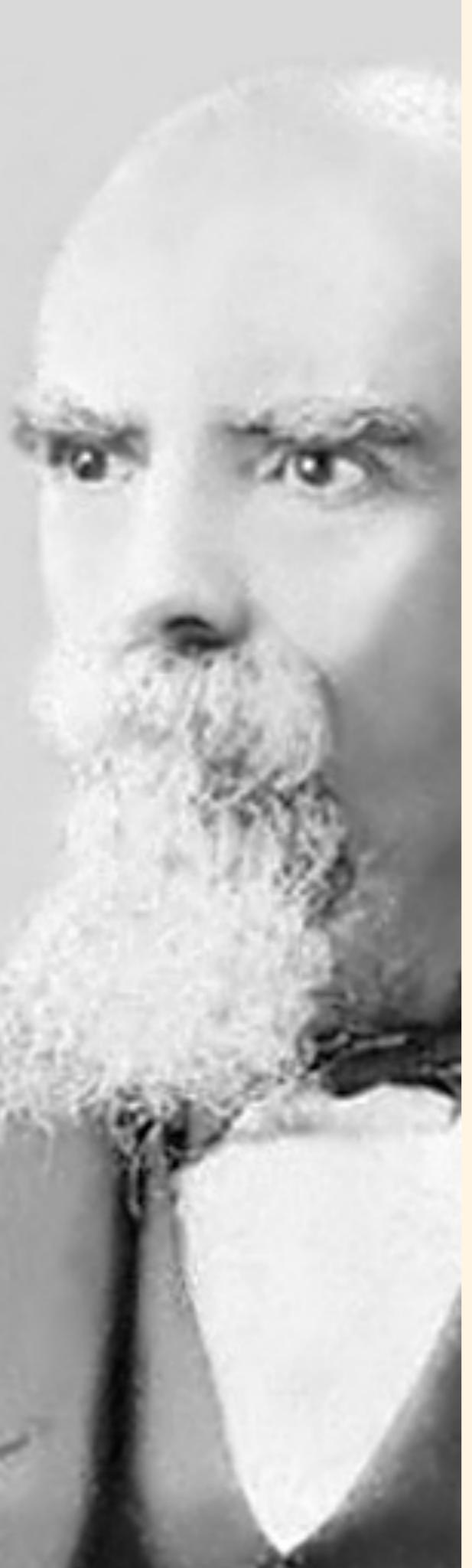
戦う力の中心は
主への礼拝

Worship Of The Lord Is
At The Heart Of The Fight



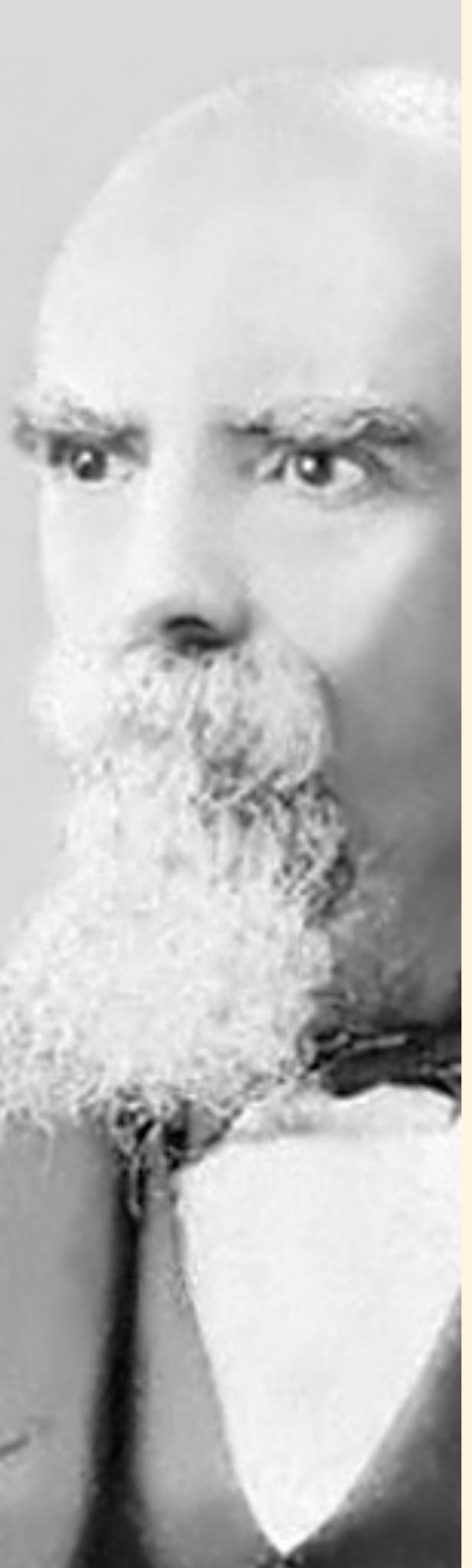
“

自分の品性を
通して、
キリストを
存分に現し、



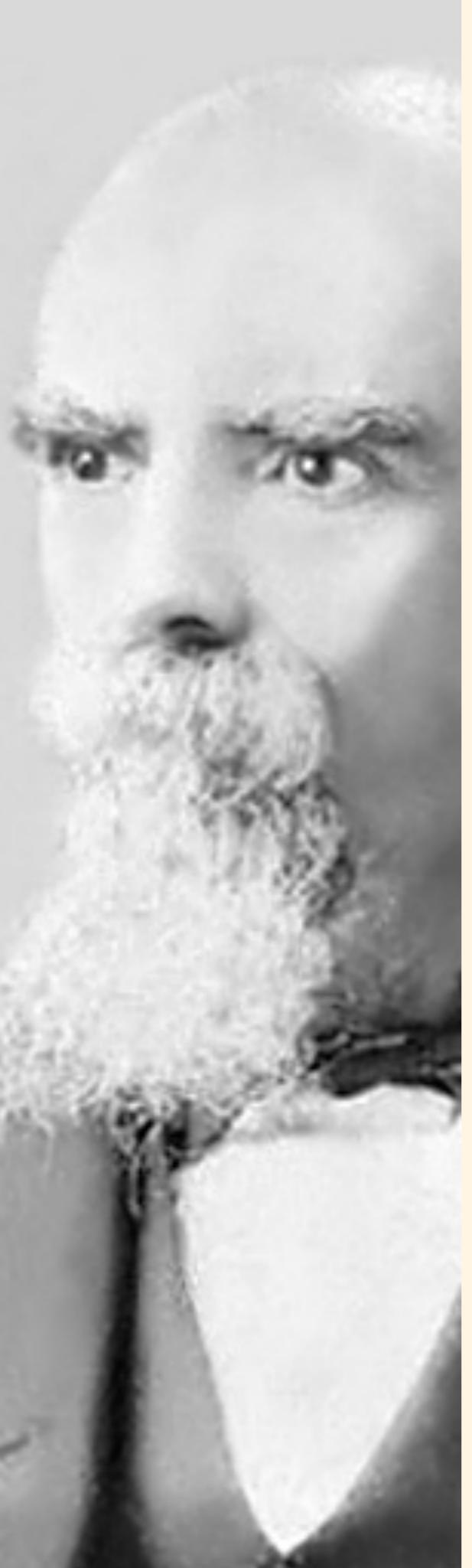
“

キリストの
御名のために
全世界に
強烈な影響を
与えた人は、



“

その人の生涯は
それ以外
なかつた
と言えるほど、



“
非常に
多くの時間を
神と過ごした
人である。



“

神と過ごす
時間が
わずかな人は、
神のために
なすことも
わずかである。

-Edward McKendree Bounds

Section 2-3

奉仕に進むために



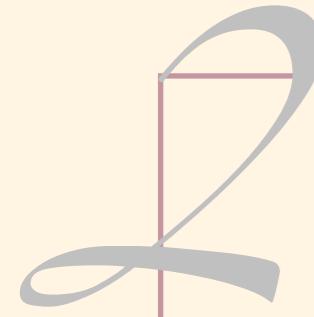
汚れた人の隔離

Dirty People Isolation



神との関係の健全化

Sounder Relationship With God



罪過のための賠償

Compensation For Transgression



同胞との関係の健全化

Sounder Relationship With Fellow Brothers



妻の潔白の証明

Proof Of My Wife's Innocence

家族との関係の健全化

Sounder Relationship With Family

Section 2-4

献身者の心

「イスラエルの子らに
告げよ。
男または女が、
主のものとして

身を聖別するため
特別な誓いをして、
ナジル人の誓願を
立てる場合、

その人は、
ぶどう酒や強い酒を
断たなければ
ならない。

民数記 6:3-4

ぶどう酒の酢や
強い酒の酢を
飲んではならない。
また、
ぶどう汁をいっさい
飲んではならない。

ぶどうの実の
生のものも、
干したものも
食べてはならない。

民数記 6:3-4

ナジル人としての
聖別の全期間、
彼はぶどうの木から
生じるものは
すべて、種も皮も
食べてはならない。

民数記 6:3-4



ぶどうを絶つ

Do Not Eat Grapes

聖歌598番

Chant Number 598

“かつては我
良きものを
求めて主を
忘れたり

“
賜物より
癒しより
与え主ぞ
さらには良き

“
我がすべての
すべてなる
主をば崇めん
とこしなえに



“
以前は祝福、
今は主
以前は感情、
今はみことば
以前は
主の賜物を
求めぬ



“

今は
与え主を
わがものとす



“

以前は癒しを
求めぬ
今は
主だけを求む



“

すべてにまさり
とこしえに
われは
イエスを歌わん



“

すべては
イエスにあり
そして、
イエスは
すべてなり

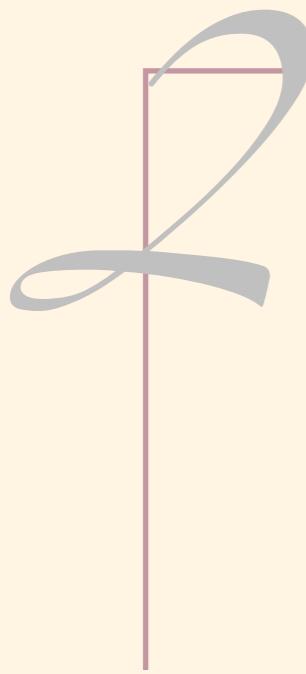
-Albert Benjamin Simpson

彼がナジル人としての
聖別の誓願を
立てている間は、
頭にかみそりを
当ててはならない。

主のものとして
身を聖別している
期間が満ちるまで、

彼は
聖なるものであり、
頭の髪の毛を
伸ばして
おかなければ
ならない。

民数記 6:5



髪の毛を切らない

Do Not Cut The Hair

彼の頭には
神への
聖別のしるしが
あるからである。

民数記 6:7

また、
彼（大祭司）の頭に
かぶり物をかぶらせ、

さらに、
そのかぶり物の
全面に金の札
すなわち
聖なる記章を付けた。

レビ記 8:9

また、
純金の札を作り、
その上に印章を
彫るように

出エジプト 28:36-37

『主の聖なるもの』
と彫り、これを
青ひもに付け、

出エジプト 28:36-37

それをかぶり物に
付ける。
それがかぶり物の
前面に
くるようにする。



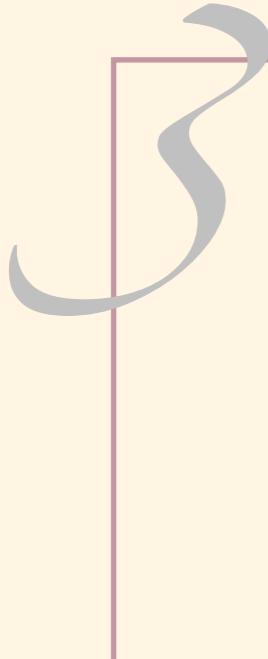
記章

記章の位置

主のものとして身を
聖別している間は、
死人のところに
入って行っては
ならない。

父、母、
兄弟、姉妹が
死んだ場合でも、
彼らとの関わりで
身を
汚してはならない。

民数記 6:6-7



死体から
遠ざかった

Moved Away From The Corpse

兄弟たちのうち
大祭司で、
頭に注ぎの油が
注がれ、

レビ記 21:10-11

任職されて装束を
着けている者は、
その髪の毛を
乱したり、

レビ記 21:10-11

その装束を
引き裂いたりしては
ならない。
いかなる死人の
ところにも

レビ記 21:10-11

入って行っては
ならない。
自分の父のためにも
母のためにも
自分の身を汚しては
ならない。

レビ記 21:10-11

主のものとして
身を
聖別している間は、
死人のところに
入って行っては
ならない。

民数記 6:6

Section 2-5

第2章のまとめ

**奉仕する力の
中心は
主への喜び**

**奉仕のためには
関係の健全化が必要**

献身への
自発的な意志が
奉仕には必要

奉仕者は
祝福よりも
与え主を喜ぶ

奉仕者は
神との交わりを
喜ぶ

奉仕者は
神との親しさを
喜ぶ

Chapter 3

奉仕の秩序

Section 3-1

集会成長の要

使徒たちや
預言者たちという
土台の上に
建てられていて、

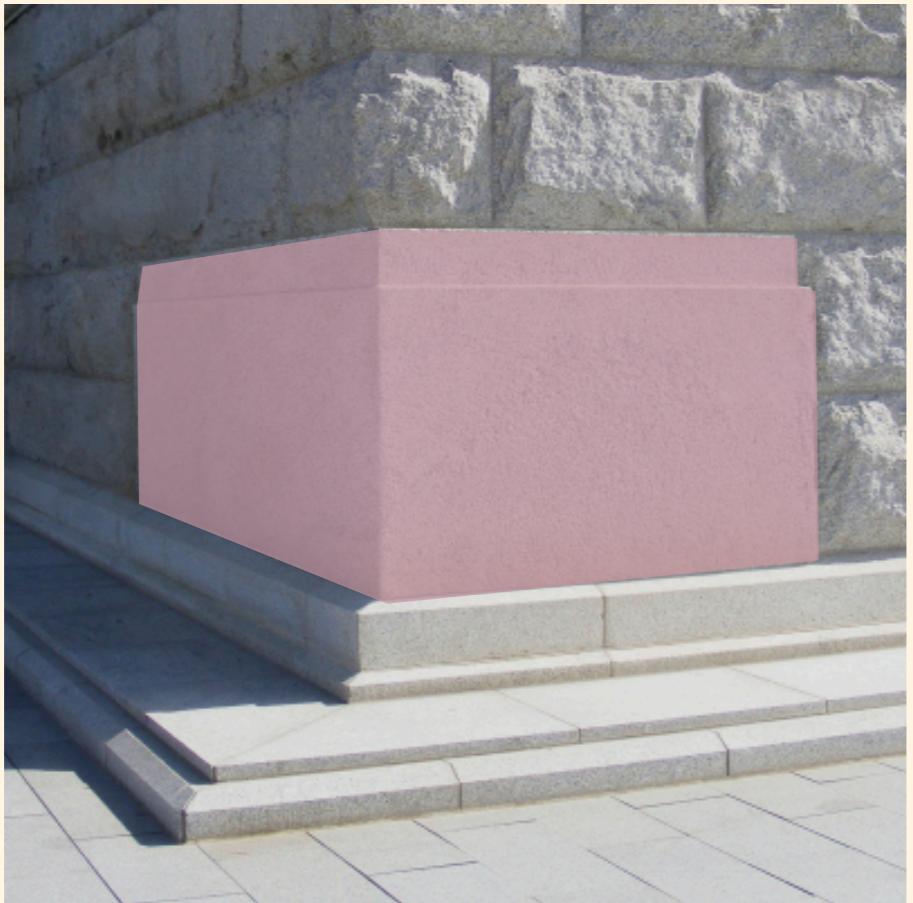
キリスト・イエス
ご自身が
その要の石です。
このキリストに
あって、

建物の全体が
組み合わされて
成長し、主にある
聖なる宮となります。

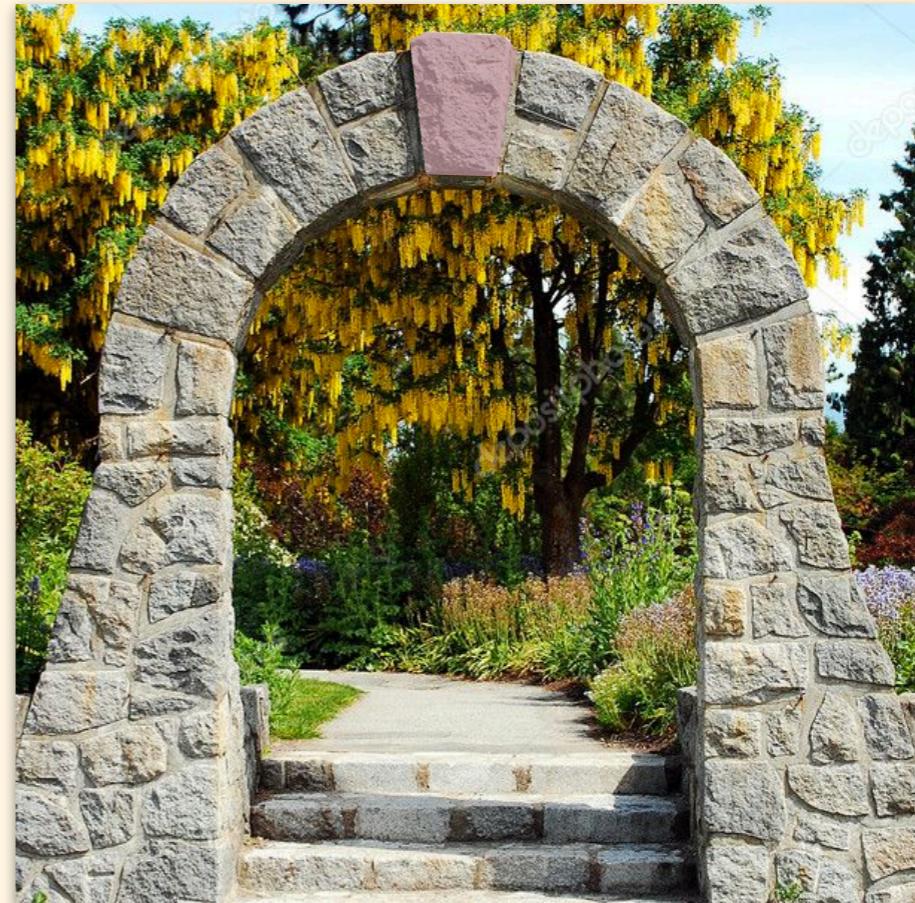
あなたがたも、
このキリストに
あって、
ともに築き上げられ、

御靈によって
神の御住まいと
なるのです。

エペソ 2:20-22



隅の石

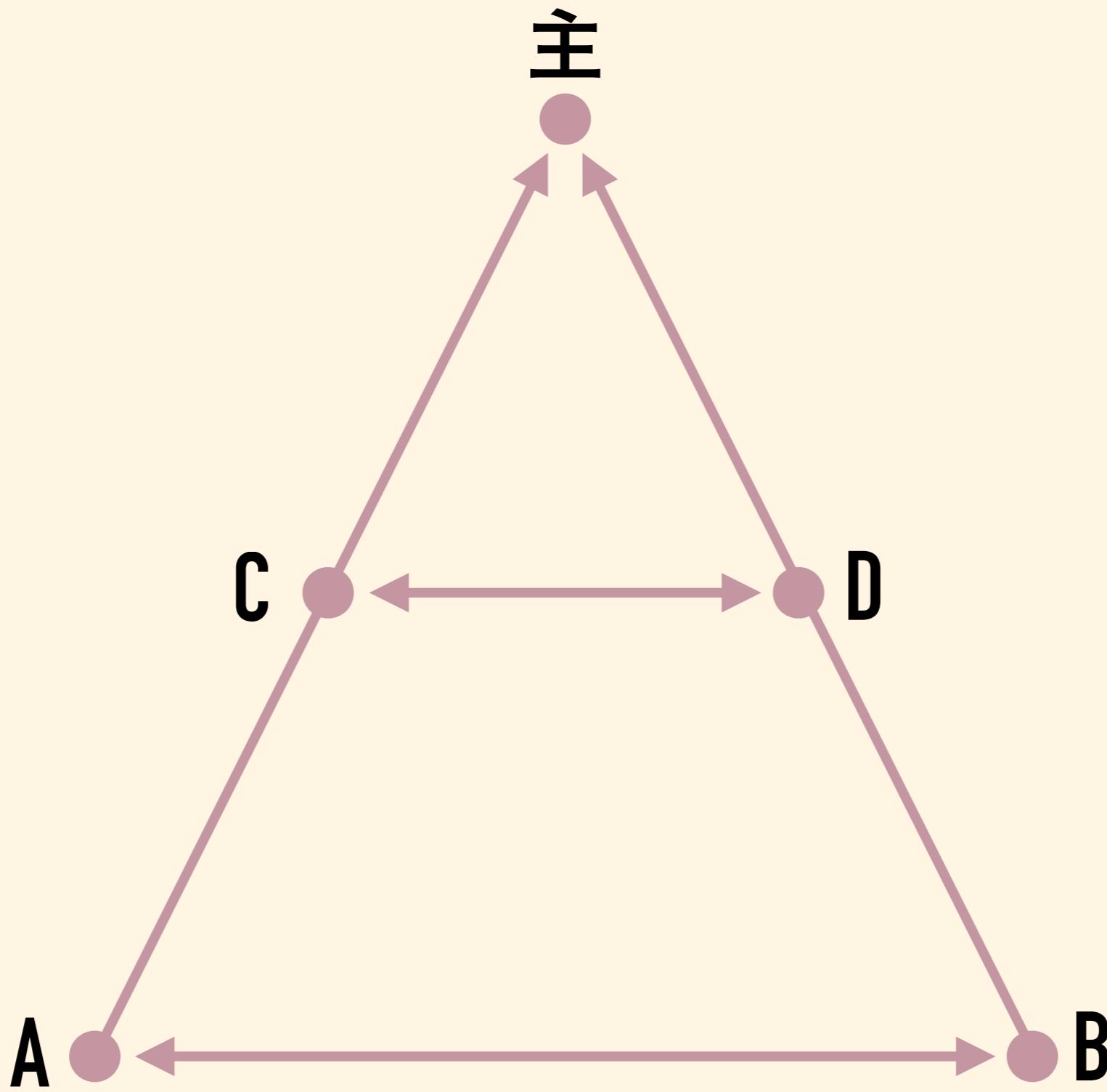


かしら石

私たちはみな、
神の御子に対する
信仰と知識において
一つとなり、

一人の成熟した
大人となって、
キリストの満ち満ちた
身丈にまで
達するのです。

主にある群れの一致



集会成長の要は
主にあって
行動する意識

The Essence Of The Assembly Growth
Is To Act In The Lord

Section 3-2

集会成長の土台

使徒たちや
預言者たちという
土台の上に
建てられていて、

集会成長の土台は
みことば

The Foundation Of The Assembly Growth

Section 3-3

集会成長のための 役割

こうして、
キリストご自身が、
ある人たちを使徒、
ある人たちを預言者、

ある人たちを伝道者、
ある人たちを牧師、
また教師として
お立てになりました。

それは、
聖徒たちを整えて
奉仕の働きをさせ、
キリストのからだを
建て上げるためです。

ある人たちを使徒、
ある人たちを預言者、
ある人たちを伝道者、
ある人たちを牧師、
また教師として
お立てになりました。

私（パウロ）が
植えて、
アポロが
水を注ぎました。
しかし、成長させた
のは神です。

Section 3-4

**奉仕は「皆の益」
を考えて**

さて、賜物は
いろいろありますが、
与える方は
同じ御靈です。

奉仕はいろいろ
ありますが、
仕える相手は
同じ主です。

コリント 12:4-7

働きはいろいろ
ありますが、
同じ神が
すべての人の中で、
すべての働きを
なさいます。

皆の益となるために、
一人ひとりに
御靈の現れが
与えられて
いるのです。

コリント 12:4-7

たとえ私が
人の異言や
御使いの異言で
話しても、

愛がなければ、
騒がしいどうや、
うるさいシンバルと
同じです。

たとえ私が
預言の賜物を持ち、
あらゆる奥義と
あらゆる知識に
通じていても、

たとえ山を
動かすほどの
完全な信仰を
持っていても、

コリント 13:1-3

愛がないなら、
私は無に
等しいのです。

1コリント 13:1-3

たとえ私が
持っている物の
すべてを
分け与えても、

たとえ私のからだを
引き渡して
誇ることになっても、
愛がなければ、
何の役にも
立ちません。

コリント 13:1-3

愛は人を育てます。

1コリント 8:1

ただ、
すべてのことを
適切に、
秩序正しく
行いなさい。

1コリント 14:40

愛の指摘で
あっても適切に
秩序正しく

Even If Pointed Out By Love,
Properly And Orderly

Section 3-5

奉仕とは

主にあって

In The Lord

みことばに
基づき

Based On Scripture

2つの分野の 表れを求めて

In Search Of The Manifestations
Of The Two Fields

皆の益と
なるために

To Benefit Everyone

Section 3-6

第3章のまとめ

奉仕者は
主に結びつく
必要がある

奉仕者は
みことばの土台を
築く必要がある

植える働きと
水を注ぐ働きの
連携が
集会成長に必要

集会全体の
益となる視点の
奉仕が
集会成長に必要

Chapter 4

奉仕の報い

Section 4-1

奉仕の決算

私たちはみな、
善であれ悪であれ、
それぞれ
肉体においてした
行いに応じて

報いを受けるために、
キリストの
さばきの座の前に
現れなければ
ならないのです。

キリストの さばきの座

Judgment Of Christ

Section 4-2

奉仕の評価基準

天の御国は、
旅に出るにあたり、
自分のしもべたちを
呼んで財産を
預ける人のようです。

彼はそれぞれ
その能力に応じて、
一人には五タラント、
一人には二タラント、
もう一人には
一タラントを渡して

旅に出かけた。
するとすぐに、
五タラント
預かった者は
出でいって、

マタイ 25:14-19

それで商売をし、
ほかに五タラントを
もうけた。
同じように、
二タラント
預かった者も

ほかに二タラントを
もうけた。
一方、一タラント
預かった者は
出て行って
地面に穴を掘り、

主人の金を隠した。
さて、かなり時が
たってから、
しもべたちの
主人が帰ってきて
彼らと清算をした。

任された責任は
人それぞれ

Responsibilities Are Each Person

すると、五タラント
預かった者が
進み出て、
もう五タラントを
差し出して言った。
(中略)

主人は彼に言った。
『よくやった。
良い忠実な
しもべだ。』

マタイ 25:20-23

おまえは
わずかな物に
忠実だったから、
多くの物を任せよう。

マタイ 25:20-23

主人の喜びを
ともに喜んでくれ。』
ニタラントの者も
進み出て言った。
(中略)

主人は彼に言った。
『よくやった。
良い忠実な
しもべだ。』

マタイ 25:20-23

おまえは
わずかな物に
忠実だったから、
多くの物を任せよう。

マタイ 25:20-23

主人の喜びを
ともに喜んでくれ。』

マタイ 25:20-23

忠実

Faithful

一タラント
預かった者も
進み出て言った。
『ご主人様。
あなた様は

時かなかつた
ところから
かき集める、
厳しい方だと
分かっていました。

マタイ 25:24

主との関係が
忠実さに
影響する

Relationship With The Lord Affects Fidelity

Section 4-3

**報いは永遠の姿に
影響する**



5つの冠

Five Crowns



ディアデーマ
(王冠)



ステファノス
(栄冠)

5つの冠

- 1 朽ちない冠
- 2 喜びの冠
- 3 義の冠
- 4 いのちの冠
- 5 栄光の冠

競技をする人は、
あらゆることに
ついて節制します。
彼らは朽ちる冠を
受けるために

そうするのですが、
私たちは
朽ちない冠を
受けるために
そうするのです。

目標を定めて
自制した人

A Person Who Set Goals
And Restrained Themselves

ですから、
私は目標がはっきり
しないような
走り方はしません。
空を打つような
拳闘もしません。

1コリント 9:26

5つの冠

- 1 朽ちない冠
- 2 喜びの冠
- 3 義の冠
- 4 いのちの冠
- 5 栄光の冠

私たちの主イエスが
再び来られるとき、
御前で私たちの望み、
喜び、誇りの冠と
なるのは、

いったい
だれでしょか。
あなたがたでは
ありませんか。

伝道と 弟子訓練をした人

A Person Who
Has Done Evangelism And Discipleship

5つの冠

- 1 朽ちない冠
- 2 喜びの冠
- 3 義の冠
- 4 いのちの冠
- 5 栄光の冠

あとは、
義の栄冠が
私のために
用意されている
だけです。

その日には、
正しいさばき主である
主が、それを私に
授けてくださいます。

私だけでなく、
主の現れを
慕い求めている
人には、だれにでも
授けて
くださるのです。

携挙を 待ち望んでいる人

A Person Who
Are Waiting For The Rapture

キリストにこの望みを
置いている者はみな、
キリストが
清い方であるように、
自分を清くします。

あなたがたはわたし
空腹であったときに
食べ物を与え、
渴いていたときに
飲ませ、

マタイ 25:35-40

旅人であったときに
宿を貸し、
わたしが裸のときに
服を着せ、
病気をしたときに
見舞い、

マタイ 25:35-40

牢にいたときに
訪ねてくれた
からです。』
すると、
その正しい人たちは
答えます。

マタイ 25:35-40

『主よ。いつ私たちは
あなたが空腹なのを
見て食べさせ、
渴いているのを見て
飲ませて

マタイ 25:35-40

差し上げた
でしょうか。
いっ、
旅人であるのを見て
宿を貸し、

マタイ 25:35-40

裸なのを見て
着せて差し上げた
でしょうか。
いつ私たちは、
あなたが病気をしたり

牢におられたり
するのを見て、
お訪ねした
でしようか。』
すると、
王は彼らに答えます。

『まことに、
あなたがたに
言います。
あなたがたが、
これらのわたしの
兄弟たち、

マタイ 25:35-40

それも最も小さい者
たちの一人に
したことば、
わたしに
したのです。』

マタイ 25:35-40

すると、
王は彼らに答えます。
『まことに、
おまえたちに言う。

おまえたちが
この最も
小さい者たちの一人に
しなかったのは、
わたしに
しなかったのだ。』

5つの冠

- 1 朽ちない冠
- 2 喜びの冠
- 3 義の冠
- 4 いのちの冠
- 5 栄光の冠

試練に耐える人は
幸いです。
耐え抜いた人は、
神を愛する者たちに
約束された、

いのちの冠を
受けるからです。

ヤコブ 1:12

試練を通して
主を学んだ人

A Person Who
Have Learned The Lord Through Trials

5つの冠

- 1 朽ちない冠
- 2 喜びの冠
- 3 義の冠
- 4 いのちの冠
- 5 栄光の冠

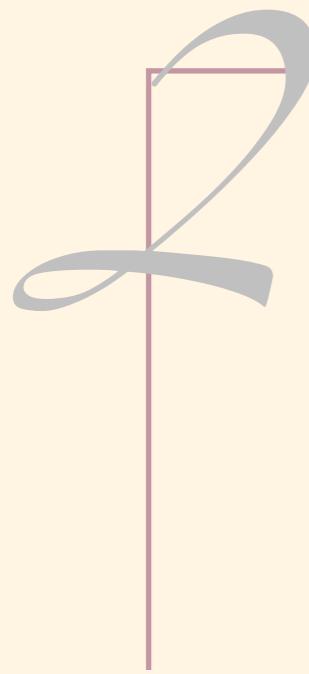
割り当てられている
人たちを
支配するのではなく、
むしろ群れの
模範となりなさい。

そうすれば、
大牧者が
現れるときに、
あなたがたは、

しほむことのない
栄光の冠を
いただくことに
なります。

牧者の働きを した人

A Person Who Worked As A Shepherd

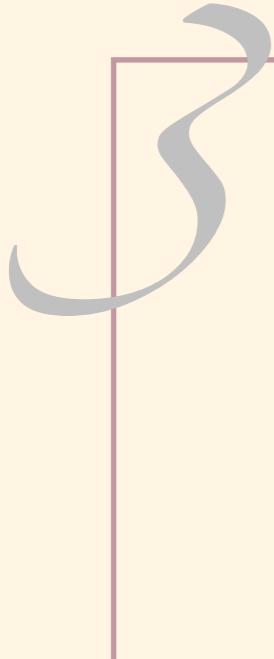


永遠の世界での 仕事

Work In The Eternal World

彼らは世々
限りなく
王として治める。

黙示録 22:5



輝くきよい亜麻布

Shining Bright Linen Cloth

花嫁は、
輝くきよい亜麻布を
まとうことが
許された。

その亞麻布とは、
聖徒たちの
正しい行いである。



“

私たちは
日を追うごとに、
永遠のホームで
やがて受ける
報いと、



“

喜び楽しむ
度合いを
自ら決定しつつ
あるのです。



“

その決定の
要因には、
聖書をどれだけ
知っているか、
また、それに
従順であるか、



“
祈りの生活はどうか、
神の民との
交わりはどうか、
主への奉仕はどうか、



“

神がゆだねて
くださった
すべてのものを
忠実に
管理しているか、



“

ということが
含まれることでしょう。

-William Macdonald

Section 4-4

奉仕者の特権

これはナジル人に
ついての
おしえである。

民数記 6:13-15

ナジル人としての
聖別の期間が
満ちたときは、
彼を会見の天幕の
入り口に連れて行く。

彼は次のささげ物を
主に献げる。
すなわち、
全焼のささげ物
(中略)

罪のきよめの
ささげ物
(中略)

交わりのいけにえ
(中略)

さらに穀物のささげ物

穀物のささげ物

Grain Offering

人として完全に
自分をささげられた主

The Lord Who Completely Offered Himself As A Human

交わりのいけにえ

Peace Offering

神と人の間に交わりの
喜びをもたらす主

The Lord Brings Joy Of Relationship
Between God And Man

罪のきよめのささげ物

Sin Offering

人の罪をきよめるために
自分をささげられた主

The Lord Who Has Given Himself
To Cleanse Man From Sin

全焼のささげ物

Burnt Offering

自分の全てを
ささげられた主

The Lord Who Gave All Of Himself

Section 4-5

第4章のまとめ

奉仕が
評価される時が
来る

**奉仕の
評価基準は
主の価値観**

**奉仕には
報いがある**

**奉仕することで
学ぶ主がある**

Whole Summary

全体まとめ

Summary Of Introduction

序論のまとめ

神のご目的に
沿った
奉仕者でありたい

Chapter 1 Summary

第1章 奉仕の意義 のまとめ

**奉仕には
壮大な意義がある**

Chapter 2 Summary

第2章 奉仕者の資質 のまとめ

**奉仕者の資質は
主を喜ぶ
人であること**

Chapter 3 Summary

第3章 奉仕の秩序 のまとめ

集会成長に
つながる奉仕かを
吟味する
必要がある

Chapter 4 Summary

第4章 奉仕の報い のまとめ

**奉仕は
永遠の姿に
影響する**

EOF

- 参考資料

- ルイス・スペリー・シェイファー『聖書の主要教理』聖書図書刊行会、1985年
高木慶太・芦田拓也『これからの世界情勢と聖書の預言』いのちのことば社、2002年
R・A・ファーレル『集会の真理と行動』伝道出版社、1975年
ウィリアム・マクドナルド『この日を主とともに』ゴスペルフォリオプレスジャパン、2014年
ウィリアム・マクドナルド『新約聖書注解2』伝道出版社、2006年
ヘンリー・W・ソルト『幕屋～祭司と捧げ物～』牧草社、2004年

- 改版履歴

-
- 2015年4月 初版
2016年3月 改版
2016年8月 改版
2018年5月 改版
2019年9月 改版
2019年11月 改版
2019年12月 改版
2020年1月 改版
2020年2月 改版
2020年3月 改版
2020年4月 改版
-